

あなたも広報デビューしませんか

広報きくよう内の「菊陽入りさーち」に載りたい人を募集します。写真、名前、お住まいの地区、趣味、夢や周囲の人へのメッセージなどを掲載します。掲載した人には、記念に写真をお送りしています。

■対象者 町内在住の小学生以上の人
毎月2人まで掲載しますので、友人や夫婦などで一緒に申し込むことができます。

■申込方法
電話、はがき、メールのいずれかで、氏名・年齢・連絡先(昼間)をお知らせください。掲載が決まりましたらご連絡します。

■申し込み・問い合わせ
〒869-1192(住所不要)
菊陽町役場総合政策課 ☎(232)2112
sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp



人権啓発標語 「きっと変わる 自分を信じて」

武蔵ヶ丘中学校 1年 李 佳音(現在2年生)

「水俣学習をしてきづいたこと」 菊陽中部小学校 5年 糸永 頌太(現在6年生)



見学旅行で行った美しい水俣の海

水俣病について「この子とともに」を勉強した時、水俣病の患者さんはひどい差別を受け、悪口を言われたということを知りました。その時、以前友だちにふざけて悪口を言ってしまったことを思い出しました。自分も差別している人たちと一緒にいました。

水俣病は環境が汚染されておきた病気です。チッソ工場が水銀を流したせいで多くの方が水俣病になりました。工場はそれを認めず自分たちのしたことをかくし通していました。なぜすぐに認めなかったのだろう。でも、ぼく自身も悪いことしたときすぐには認めず知らないふりをしたりかくしたりしたことがありました。

工場と一緒に。多くの水俣の人が働いているからという理由で見逃していた周りの人たちにも責任があると思います。水俣病の患者さんである実子さんは、小さい頃から水俣病で差別を受けてきました。チッソ工場はそれを認めず、見舞金として少しのお金しかくれませんでした。裁判には勝ったけど水俣病になった人は治ることはないし、亡くなった方はもどってきません。

水俣で出会った語り部の永本さんは、「水俣病にしてくれてありがとう」と言っていました。とても驚きましたが、水俣病になったからこそ考えたことやできごとがあったということ。また、たくさんの人と出会うことができたからありがたく思うと聞いてその言葉の意味がわかりました。

ぼくの身近なところでも同じようなことがあります。他の人なら許すのにその人に対して許さないとか、その人に対する態度が他の人と違うとか、間違っていると分かっているのにしてしまいます。ぼくも同じようなことをしていました。永本さんのようにぼくも誰に対しても態度を変えないで自分にきびしく人に優しくできる人になりたいと思います。

菊陽句会報

きくよう文芸

短歌会

和菓子屋のコーヒーの味花芙蓉	田島 三間	丹精の巨峰を売るは農高生	財津 早雪
庭花火見等の瞳が闇にもゆ	宮川ユキエ	断捨離の暮らし心得秋立ちぬ	原野レイ子
線香花火明日は都会へい去ぬる子と	紫藤 祥子	稲の花風なき風につと匂ふ	田中 郁子
新盆や僧の講話にうなずきて	曾我 育代	台風の逸れて安堵の戸を開く	寺尾千代子
父母連れて九重湯治場月明り	曾我トモ子	秋夕焼ステンドグラスめく窓へ	高橋 孝子
澄む秋の光をまどふ池の鯉	村上 朋子	落穂拾ふ夫の苦勞を拾ふごと	堀川 妙子
料亭の打ち水踏みてクラス会	米山るみ子	秋晴れや飛行機雲の一直線	福田 貴子
出水禍や故郷遠くなるばかり	吉田 幸子	胸奥に残るこだけは酔芙蓉	佐藤 澄世
天高し反芻の牛泡あふれ	木村 信子		

熊本を直撃するか十八号唇かみてビニールを剥ぐ	梅田 國雄
蝉の音もややおとろえしのびよる秋のきざしに散る桜黄葉	河北 幸一
雷と共に激しく雨降りてたちまち明るむ空は不気味に	佐藤せい子
雨に濡れ緑深まる杉木立むき出しし山の横に立ちおり	中村トシエ
青空に飛行機雲の流れをば眺める今朝の吾は幸せ	古荘喜佐子
この日頃風も清かに吹き初めて光る草々ウオーキングに出づ	山川 カツ
幼子のほっぺのような熟れ桃を母とほおばり笑顔こぼれる	山口 静子
先を読み打つ手を決めむ黒石の位置に如何なる狙ひのあるや	松本 東亜

「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 第33回菊陽町人権子ども集会」

入場無料

- 日時 平成29年(2017年)12月9日(土) 午前9時～正午
- 場所 菊陽中学校体育館
- 内容
ステージ発表
菊陽中学校、武蔵ヶ丘小学校、武蔵ヶ丘北小学校、菊陽西小学校
展示発表
武蔵ヶ丘中学校、菊陽中部小学校、菊陽南小学校、菊陽北小学校



ステージ発表(昨年度)



実行委員会の様子

皆さんは、「部落差別をはじめあらゆる差別」について考えたことがあるでしょうか。この集会は、参加する皆さんが人権についてしっかり学び、周りの人に発信していくための集会です。

私は昨年この集会に参加して、人との繋がりの大切さや自分を見つめ直すきっかけになりました。だから、まず私たちが人権の輪を作り、その輪を広げ大きな輪を作っていきましょう。皆さんの多くの参加をお待ちしています。

菊陽町人権子ども集会実行委員長
武蔵ヶ丘中学校生徒会長 篠崎 昂聖